

令和2年10月19日後期始業式

今日から後期が始まります。早いもので、今の皆さんの学年も、残り半年です。皆さんにとっては長いと感じますか？短いと感じますか？この半年という時間は、皆さんに平等にあるものです。どう使うかは皆さん次第です。一日一日を大切に生活できるといいですね。

私から皆さんに、後期にぜひ大切にしてほしい言葉を言います。「挑戦」です。

「挑戦」というのは、難しいな、できないな、失敗しそうだなどと思ったことでも、頑張って取り組もうとすることを言います。今日、この式の後に、児童会役員の皆さん、学級委員の皆さんの認証式を行います。認証する児童会役員さん、学級委員さんはもちろんのこと、残念ながら当選しなかったけれど、児童会役員や学級委員に立候補した人も、立派に「挑戦」ができた人です。「挑戦」に「失敗」は付き物です。でも、失敗することは、悪いことばかりではありません。「失敗は成功のもと」という言葉を聞いたことはありませんか。失敗をすれば、人は必ず、その原因を反省し、方法や欠点を変えていこうとします。そのことで、その後の成功につながるようになります。

発明王エジソンの名前を聞いたことがありますか？一生の間に約1,300もの発明をした人です。皆さんも好きな人が多いと思いますが、映画もエジソンが発明したのもエジソンです。

エジソンが発明をした代表的なものとして、電球があります。電球を作るために失敗した回数は20,000回だといわれています。それだけ失敗してもあきらめずに挑戦した結果、電球を完成することができたそうです。また、野球選手で、ホームランをたくさん打つ選手がいますが、そういった選手は、三振もたくさんしていることが多いそうです。失敗をしても、なぜ失敗したのか、次はどうすれば成功するのかを一生懸命考えて挑戦することが、成功するために大切だと思います。

失敗を恐れずに挑戦することができる人はすばらしいと思います。周りの人も、友達の「挑戦」を認め、「失敗」を笑うのではなく、励ましてあげられる優しい目を向けられるといいですね。

皆さんがこれからの生活で、いろいろなことにどんどん挑戦していくことを楽しみにしています。